

## 言の葉合わせ 小6バージョン・これだけで鬼に金棒

言葉の力は語彙(ごい)の力。みんなでレッツ・シング・ボキャブラー。



きみはAからEの部屋まですべて通り抜けることができるかな?各部屋から1問ずつ出題。とおりぬけた者はいまだかつてだれもいない。

### Aの部屋: 部首・筆順・画数・漢字の組み立て・対義語・熟字訓

【部首】  
 (1) 性 (2) 部 (3) 剣 (4) 被  
 (5) 雜 (6) 医 (7) 延 (8) 痘  
 (9) 熱 (10) 超 (11) 防 (12) 独  
 (13) 社 (14) 顔 (15) 段 (16) 京  
 (17) 写 (18) 突 (19) 原 (20) 庭  
 (21) 冷 (22) 彩 (23) 肝 (24) 牧  
 (25) 印 (26) 歌 (27) 登 (28) 尿

【筆順】  
 (1) 馬 (2) 必 (3) 右 (4) 収  
 (5) 服 (6) 情 (7) 越 (8) 廷 (9) 存  
 (10) 減 (11) 止 (12) 非 (13) 飛  
 (14) 世 (15) 版 (16) 拒 (17) 彼  
 えつ君は かな筆順も 違っている?

【総画数】  
 (1) 子3 (2) 送9 (3) 去5 (4) 区4  
 (5) 弟7 (6) 防7 (7) 低7 (8) 水4  
 (9) 卵7 (10) 延8

#### 【熟語の組み立て】

- (1) 上と下が似た意味
- (2) 上と下が対になる
- (3) 上が下を修飾する
- (4) 上下が主語述語の関係となる
- (5) 下が上の目的語となる(例: 書を読む=読書)
- (6) 接頭語・接尾語のついた形

#### 【対義語】

- (1) 危険 (2) 延長 (3) 複雑 (4) 集合
- (5) 縮小 (6) 義務 (7) 懈怠 (8) 抽象
- (9) 結果 (10) 現実 (11) 永遠 (12) 平凡
- (13) 革新 (14) 自然 (15) 虚偽 (16) 生産 (17) 精密
- (18) 全体 (19) 創造 (20) 総合 (21) 与党
- (22) 支出 (23) 興奮 (24) 形式 (25) 需要 (26) 困難
- (27) 感情 (28) 軽率 (29) 許可 (30) 往信

#### 【同音異義語・同訓異字】

- |       |   |
|-------|---|
| □きわめる | □真理を究める、頂上を極める、困難を極める、                            |
| □おさめる | □成功を収める、税を納める、学問を修める、国を治める、                       |
| □あける  | □夜が明ける、箱を開ける、家を空ける、                               |
| □おかす  | □罪を犯す、人権を侵す、危険を冒す、                                |
| □つとめる | □生徒会長を務める、勉学に努める、役所に勤める、                          |
| □とる   | □天下を取る、事務を執る、決を採る、写真を撮る、蜻蛉を捕る、                    |
| □あつい  | □暑い日が続く、厚い辞書、熱いお茶、                                |
| □すすめる | □仕事を進める、気分転換を勧める、いい仕事を薦める、                        |
| □たつ   | □角が立つ、旅に発つ、新校舎が建つ、消息を絶つ、酒を断つ、布地を裁つ、時間が経つ、         |
| □あらわす | □姿を現す、書物を著す、文章に表す、                                |
| □かえる  | □家に帰る、初心に返る、位置を変える、社長に代えて部長を派遣する、夏服に替える、土地を金に換える、 |
| □はかる  | □時間を計る、目方を量る、面積を測る、便宜を図る、悪事を謀る、審議会に諮る、            |

### ほんとは漢字の読み書き意味まで

(1) りっしんべん (2) おおざと (3) りっとう (4) ころもへん (5) ふるとり (6) はこがまえ (7) えんよう (8) やまいだれ (9) れっか (10) そうよう (11) こざとへん (12) けものへん (13) しめすへん (14) おおがい (15) るまた (16) なべふた (17) わかんむり (18) あなかんむり (19) がんだれ (20) まだれ (21) にすい (22) さんづくり (23) にくづき (24) うしへん (25) ふしづくり (26) あくび (27) はつがしら (28) しかばね

(1) (2)  
 (3) (4)  
 (5) (6)  
 (7) (8)  
 (9) (10)  
 (11) (12)  
 (13) (14)  
 (15) (16)  
 (17)

(1) 温暖、永久、過去、幸福、創造、豊富、寒冷、  
 (2) 公私、往復、愛憎、増減、動静、有無、因果  
 (3) 復習、予想、早寝、弱点、大空、高原、暗示  
 (4) 地震、日没、雷鳴、腹痛、私有、年少、国立  
 (5) 就職、噴火、失礼、消火、投球、握手、登山  
 (6) 未知、不足、強化、物的、急性、非凡、御礼

(1) 安全 (2) 短縮 (3) 単純・簡単 (4) 解散 (5) 拡大  
 (6) 権利 (7) 勤勉 (8) 具体 (9) 原因 (10) 理想  
 (11) 瞬間 (12) 非凡 (13) 保守 (14) 人工  
 (15) 真実 (16) 消費 (17) 粗雑 (18) 部分  
 (19) 模倣 (20) 分析 (21) 野党 (22) 収入  
 (23) 冷静 (24) 内容 (25) 供給 (26) 容易  
 (27) 理性 (28) 慎重 (29) 禁止 (30) 返信

□やさしい	□この問題は易しい、彼女はとても優しい人だ
□やぶれる	□戦いに敗れた、障子が破れた
□けんとう	□駅はこの見当だ、見当違いだった、課題を検討する、ご健闘を祈ります、
□ついきゅう	□真理を追究する、利益を追求する、責任を追及する、
□ぜったい	□彼の考えには絶対反対だ、絶体絶命の危機、
□たいじょう	□左右対称の図形、二人の性格は対照的だ、大人対象のアンケート、
□いぎ	□会の決定に異議を申し立てる、同音異義語、参加することに意義がある、
□かんき	□室内の換気をする、注意を喚起する、成功に歓喜する
□いがい	□意外な結果だった、彼以外は賛成だ
□かいほう	□人質を解放する、窓を開放する、病人を介抱する、
□ほしょう	□品質を保証する、安全を保障する、事故の損害を補償する、
□かてい	□計算の過程でミスがあった、教育課程を編成する、仮定が正しいとは限らない、
□きこう	□新校舎の起工式、温暖な気候、新聞への寄稿、旅の紀行文、政治の機構、港に寄港する、
□きせい	□体内に寄生する虫、故郷に帰省する、交通規制、既製品を買う、

## 漢字の部屋B 中学時代までの漢字は約2000字 その厳選300を披露。いいKANNJI

- |                                |                                |
|--------------------------------|--------------------------------|
| (1) 彼は心臓病の名医（めいい）だ             | (51) 目覚（めざ）まし時計が壊れたので春暁クラブに入った |
| (2) 横暴（おうぼう）な行為（こうい）を非難する      | (52) 徹夜すると、うろ覚（おぼ）えの状態になる      |
| (3) デパートの屋上（おくじょう）で公式を暗記した     | (53) 町を挙（あ）げて代表選手を応援した         |
| (4) 心温（あたた）まる話に感動した            | (54) この物語の最後は感極（かんきわ）まる内容だった   |
| (5) 日本列島を寒波（かんぱ）が襲（おそ）う        | (55) 円の直径（ちょっけい）は半径+半径         |
| (6) 図書の返却の期限（きげん）を守る           | (56) 建築（けんちく）現場で火災が発生した        |
| (7) 全員起立（きりつ）して来客を迎えた          | (57) 実験に成功（せいこう）して大金持ちになった     |
| (8) 失敗の原因を究明（きゅうめい）する          | (58) 太平洋をヨットで単独航海（こうかい）した      |
| (9) 郵便局の配達区域（くいき）を調べる          | (59) 駅の改札（かいさつ）口で切符を落とした       |
| (10) この身軽な動きはあいつの仕業（しわざ）だろう    | (60) 最新のコピー機で原稿を刷（す）り上げた       |
| (11) 具体（ぐたい）的な案を出して下さい         | (61) 子犬を産（う）んだばかりのお母さん犬        |
| (12) 軽（かろ）やかな彼の演技に圧倒された        | (62) 小児科（しょうにか）に外科（げか）         |
| (13) 不幸中の幸（さいわ）い               | (63) 汚職で総理大臣を辞（や）めた            |
| (14) 大統領の権利行使（こうし）する           | (64) 試行錯誤、何度も何度も試（こころ）みた       |
| (15) 事の一部始終（いちぶしじゅう）を確かめた      | (65) でっかい面積（めんせき）の成績カード        |
| (16) 先生の指示に従って道具を持参（じさん）した     | (66) 今朝は底冷（そこび）えがしたが、霜が降りていた   |
| (17) 筆者（ひっしゃ）の意図（いと）を確かめたいものだ  | (67) 故障が見つかったので作業を停止（ていし）した    |
| (18) 親の留守（るす）中に友達をあげてはいけない     | (68) つらくても努（つと）めて明るく振る舞った      |
| (19) この文書の取り扱（あつか）いには注意して下さい   | (69) 無駄（むだ）な時間は費（つい）やさないようにしたい |
| (20) 混乱した事態を收拾（しゅうしゅう）する       | (70) 敵に包囲され不吉な雰囲気（ふんいき）に包まれた   |
| (21) 若者の集（つど）いには積極的に参加しよう      | (71) 欲望が満たされて本望（ほんもう）だ         |
| (22) 暑（あつ）い日に熱いお茶を飲んだ          | (72) 家族を養（やしな）うために必至で働いた       |
| (23) 消極（しょくきょく）的になるな、積極的に行動しよう | (73) 湯冷（さ）めして体がとても冷（ひ）えた       |
| (24) 実は彼の腕前は名人にも勝（まさ）るものだ      | (74) 過労（かろう）により職場で倒れてしまった      |
| (25) 神社の神主（かんぬし）さんの話に耳を傾ける     | (75) 口で言るのは易（やす）しいが実行するのは難しい   |
| (26) 話の結末を予想（よそう）したが外れた        | (76) 往復（おうふく）切符2枚ください          |
| (27) 速（すみ）やかに連絡したらあとは休息していいです  | (77) 予算案が可決されるか否決（ひけつ）されるか     |
| (28) 大した代物（しろもの）でもないのに高い代金を払った | (78) 大変な仕事を快（こころよ）く引き受けた       |
| (29) 気の短（みじか）いと言うことは短所でもある     | (79) 新しい仕事に慣（な）れるまでには時間がかかる    |
| (30) 笛を吹（ふ）いたら地面に転がりなさい        | (80) 肉眼（にくがん）では正確な数がわかりにくい     |

- (31) 度胸（どきょう）ある彼は冬山に登った  
 (32) 1番で合格して喜びは倍増（ばいぞう）した  
 (33) 彼女の悪事が発覚（はっかく）した  
 (34) 悲觀（ひかん）的にならずに樂觀的に暮らそう  
 (35) 花粉症で耳鼻科（じびか）に行った  
 (36) 時計の秒針（びょうしん）が動かなくなった  
 (37) 上品（じょうひん）な言葉遣いと下品な行動  
 (38) 余計にかかった費用を負担（ふたん）する  
 (39) 川にうなぎの稚魚（ちぎょ）を放（はな）った  
 (40) 劇の配役（はいやく）決めで主役を希望した  
 (41) 荒尾という地名の由来（ゆらい）を調べた  
 (42) 地震を予知（よち）するなまぢちゃん  
 (43) 洋裁（ようさい）と和裁（わさい）  
 (44) 杉の木に雷が落（お）ちた  
 (45) アラブまでの旅券（りょけん）を手配した  
 (46) 無礼（ぶれい）な振る舞いに激怒（げきど）した  
 (47) 森に囲（かこ）まれた湖  
 (48) 最初の印象（いんしょう）が悪いと大変だ  
 (49) 栄養（えいよう）満点のアボガドにドリアン  
 (50) 彼と彼女の間に友情が芽生（めば）えた

- (81) 新旧（しんきゅう）交代の時期がやってきた  
 (82) 清潔な服を着て潔（いさぎよ）く反省した  
 (83) 前途は険（けわ）しい、つまり前途多難だ  
 (84) 厳しい制限で小学生に限（かぎ）られた  
 (85) この薬はがんに良く効（き）くらしい  
 (86) 厚（あつ）いこの本を読んでいたら心が熱くなった  
 (87) コーラと麦茶を混（ま）ぜたら意外とおいしかった  
 (88) 口は災（わざわ）いの元  
 (89) 第一志望（しほう）を目指して頑張ろう  
 (90) 恩師を同窓会に招待（しょうたい）する  
 (91) 太平洋の真ん中で消息を絶（た）った  
 (92) 素直（すなお）に過失（かしつ）を認めた  
 (93) 不摂生（ふせっせい）をして健康を損（そそこ）なった  
 (94) 会長一人に仕事を任（まか）せるな  
 (95) どっとが有利か判定を下（くだ）す  
 (96) 世間の評判（ひょうばん）がとてもよい  
 (97) 次第に体力が回復（かいふく）した  
 (98) 目に余る傍若無人（ぼうじやくぶじん）な行為  
 (99) この絵が私の目に留（と）まった  
 (100) 変化に富（と）む風景に夢中になった

**Cの部屋**: 四字熟語、故事成語    **突然飛び出せ四字熟語**    **日常会話に張りが出る**    **わからない言葉に出会い辞書を引き**

**【四字熟語】**

- (1) 我田引水（がでんいんすい）  
 (2) 一朝一夕（いっちょういっせき）  
 (3) 傍若無人（ぼうじやくぶじん）  
 (4) 異口同音（いくどうおん）  
 (5) 大同小異（だいとうしょうい）  
 (6) 意味深長（いみしんちょう）  
 (7) 臨機應變（りんきおうへん）  
 (8) 優柔不斷（ゆうじゅうふだん）  
 (9) 絶体絶命（ぜったいぜつめい）  
 (10) 大器晚成（たいきばんせい）  
 (11) 暗中模索（あんちゅうもさく）  
 (12) 一期一会（いちごいちは）  
 (13) 一日千秋（いちじつせんしゅう）  
 (14) 右往左往（うおうさおう）  
 (15) 感慨無量（かんがいむりょう）  
 (16) 空前絕後（くうぜんぜつご）  
 (17) 言語道斷（ごんごどうだん）  
 (18) 千差万別（せんさばんべつ）  
 (19) 馬耳東風（ばじとうふう）  
 (20) 無我夢中（むがむちゅう）  
 (21) 起死回生（きしかいせい）  
 (22) 吳越同舟（ごえつどうしゅう）  
 (23) 晴耕雨読（せいこううどく）  
 (24) 千載一遇（せんざいいいちぐう）  
 (25) 付和雷同（ふわらいどう）  
 (26) 勸善懲惡（かんせんちょうあく）  
 (27) 質実剛健（しつじつごうけん）  
 (28) 森羅万象（しんらばんじょう）  
 (29) 泰然自若（たいぜんじじやく）  
 (30) 東奔西走（とうほんせいそう）

- (1) 自分の都合良いように計らうこと。  
 (2) わずかな時間。  
 (3) 自分勝手にふるまうこと。  
 (4) みんなが同じことを言うこと。  
 (5) ほぼ同じこと。  
 (6) 意味に深い中身があること。  
 (7) 時と場合に応じてうまく処理すること。  
 (8) はっきりせず決断力に欠けること。  
 (9) 逃れようのない困難な状態。  
 (10) 大人物は年を取ってから大成すること。  
 (11) わからないままにいろいろやってみること。  
 (12) 一生の間にただ一度の貴重な出会い。  
 (13) とても待ち遠しく感じること。  
 (14) うろたえ騒ぐ様子。  
 (15) 深く身にしみて感じること。  
 (16) 過去にも未来にも例がないこと。△前代未聞  
 (17) 言いようもなくひどいこと。  
 (18)さまざまに変わっていること。  
 (19) 何を言われても聞き流すこと。  
 (20) 熱中して我を忘れること。  
 (21) 絶体絶命の危機から脱すること。  
 (22) 仲の悪い者同士が同じ場所にいること。  
 (23) 晴れた日は働き雨なら読書のような生活。  
 (24) 非常に恵まれた絶好の機会。  
 (25) 尻馬に乗る。相手の考えにすぐ従うこと。  
 (26) 善を勧め、惡を戒めること。  
 (27) 飾り気が無く眞面目でたくましいこと。  
 (28) 宇宙すべての存在や出来事。  
 (29) 落ち着いていて物事に動じないこと。  
 (30) 忙しく駆け回ること。

- (31) 無味乾燥 (むみかんそう)
- (32) 針小棒大 (しんしょうぼうだい)
- (33) 有名無実 (ゆうめいむじつ)
- (34) 竜頭蛇尾 (りゅうとうだいび)
- (35) 憤氣投合 (いきとうごう)
- (36) 一網打尽 (いちもうだいじん)
- (37) 因果應報 (いんがおうほう)
- (38) 有為転変 (ういてんぺん)
- (39) 疑心暗鬼 (ぎしんあんき)
- (40) 時期尚早 (じきいしようそう)
- (41) 縦横無尽 (じゅうおうむじん)
- (42) 首尾一貫 (しゅびいっかん)
- (43) 適材適所 (てきざいてきしょ)
- (44) 悠々自適 (ゆうゆうじてき)
- (45) 栄枯盛衰 (えいこせいすい)
- (46) 八方美人 (はっぽうびじん)
- (47) 花鳥風月 (かちょうふうげつ)
- (48) 冠婚葬祭 (かんこんそうさい)
- (49) 三々五々 (さんさんごご)
- (50) 津々浦々 (つつうらうら)

#### 【故事成語】

- (1) 圧巻 (あっかん)
- (2) 漁夫の利 (ぎょふのり)
- (3) 画竜点睛 (がりょうてんせい)
- (4) 杞憂 (きゆう)
- (5) 蛍雪の功 (けいせつのこう)
- (6) 人間万事塞翁が馬 (さいおう)
- (7) 背水の陣 (はいすいのじん)
- (8) 覆水盆に返らず (ふくすいぼんにかえらず)
- (9) 蛇足 (だそく)
- (10) 五十歩百歩
- (11) 推敲 (すいこう)
- (12) 虎穴に入らずんば虎児を得ず (こけつ)
- (13) 他山の石 (たざん)
- (14) 杜撰 (ずさん)
- (15) 泣いて馬謖を斬る (ばしょく)

- (31) 感じるものがないこと、興味がわかないこと。
- (32) 大げさにいうこと。
- (33) 名前だけで実質が伴わないこと。
- (34) 最初は勢いがあっても後はふるわないこと。
- (35) お互い気持ちが通じ合うこと。
- (36) いっぺんにごっそり捕まえること。
- (37) 結果には必ず原因があり、報いを受けること。
- (38) 世の中の移り変わりやすいこと。
- (39) 疑い出すると何でも不安になってしまうこと。
- (40) ことを起こすには早すぎること。
- (41) 思い通り自由にすること。自由自在。
- (42) 終始一貫。最初から終わりまで変わらない。
- (43) 才能ある人を適した場所に置くこと。
- (44) 社会から離れて気ままに暮らすこと。
- (45) 栄えたり衰えたりする世の中。
- (46) 誰とでも愛想良くつきあう人。
- (47) 自然の美しい風物。山紫水明。
- (48) いろいろな儀式。
- (49) 思い思いばらばらな様子。
- (50) 全国至るところ

- (1) 書物などの最も優れた部分。
- (2) 第三者が利益を得ること。
- (3) 最後の大切な仕上げ。
- (4) 心配しなくても良いのに心配すること。
- (5) 苦労して学問を成し遂げること。
- (6) 人生の幸不幸は予測できないこと。
- (7) 覚悟を決めて最後の力をふりしぶること。
- (8) 一度したら取り返しがつかないこと。
- (9) 余計な要らないもの。
- (10) たいして差がないこと。
- (11) 文章などを何度も練り直すこと。
- (12) 目的達成のためには危険を冒すことがある。
- (13) 他人の言動を参考にして自らを向上させる。
- (14) ものごとが雑で誤りが多いこと。
- (15) 規律を守るために愛する者も処分する。

#### Dの部屋: 慣用句、ことわざ

#### 最もgreatな部屋、ここから君の*almighty*へのあくなき挑戦が始まる

- (1) らちがあかない
- (2) 矢も楯 (たて) もたまらない
- (3) 舟をこぐ
- (4) 火に油を注ぐ
- (5) 二の句が継げない
- (6) 取りも直さず
- (7) つじつまが合う
- (8) 高をくくる
- (9) しのぎを削る
- (10) さじを投げる
- (11) かたずをのむ
- (12) 梨のつぶて
- (13) 烏 (からす) の行水 (ぎょうずい)
- (14) 身の毛がよだつ
- (15) へそで茶を沸かす
- (16) 足が地につく
- (17) 手ぐすねを引く
- (18) 小耳にはさむ
- (19) 大口をたたく
- (20) 目から鼻に抜ける
- (21) 歯に衣 (きぬ) を着せない
- (22) 二の足を踏む
- (23) 寝耳に水

- (1) はからず決着が付かないこと。
- (2) 思い詰めて我慢ができないこと。
- (3) 居眠りをすること。
- (4) 勢いあるものにさらに勢いをつけること。
- (5) あきれて次に出る言葉がない。
- (6) すなわち。直ちに。
- (7) 筋道があっている。その逆に「矛盾」あり。
- (8) たいしたことはないとみくびる。
- (9) 激しくお互い譲らず戦うこと。
- (10) 見込みがないとあきらめること。
- (11) 緊張してなりゆきを見守ること。
- (12) 何の返事も連絡もないこと。
- (13) 入浴時間の短いこと。
- (14) 恐ろしさでぞっとすること。
- (15) おかしくてたまらないこと。
- (16) 行動や気持ちがしっかりしていること。
- (17) 十分に用意して機会を待つこと。
- (18) ちらっと偶然聞くこと。
- (19) えらそうなことを言う。
- (20) とても賢く抜け目がないこと。
- (21) 思っていることをばばばば言うこと。
- (22) どうしようかと迷いためらうこと。
- (23) 不意の出来事を見聞きして驚くこと。

- (24) 目から鱗（うろこ）が落ちる
- (25) 手塩にかける
- (26) 鼻持ちならない
- (27) 鼻を折る
- (28) 口から先に生まれる
- (29) 舌の根の乾かぬうち
- (30) 奥歯に物が挟まったよう
- (31) 首が回らない
- (32) 胸をなで下ろす
- (33) 鶴の目鷹の目（うのめたかのめ）
- (34) 閑古鳥が鳴く（かんこどり）
- (35) 鯖（さば）を読む
- (36) 鶴の一声
- (37) とどのつまり
- (38) 猫の額
- (39) 猫をかぶる
- (40) 青菜に塩

#### 【ことわざ】

- (1) 論語読みの論語知らず
- (2) うどの大木
- (3) 藪（やぶ）をつついて蛇を出す
- (4) 餅は餅屋
- (5) 人には添うてみよ馬には乗ってみよ
- (6) のど元過ぎれば熱さを忘れる
- (7) 濡れ手で粟（あわ）
- (8) 二階から目薬
- (9) 情けは人のためならず
- (10) 捕らぬ狸の皮算用
- (11) 月とすっぽん
- (12) 船頭多くして船山に登る
- (13) 弘法は筆を選ばず
- (14) 光陰（こういん）矢の如し
- (15) 瓜田（かでん）に靴を入れず
- (16) 海千山千
- (17) 烏合（うごう）の衆
- (18) 魚心あれば水心
- (19) あばたもえくぼ
- (20) 悪事千里を走る
- (21) 井の中の蛙（かわづ）大海を知らず
- (22) 河童（かっぱ）の川流れ
- (23) 帯に短したすきに長し
- (24) 二兎（にと）を追う者は一兎も得ず
- (25) 石の上にも三年
- (26) 傍目八目（おかめはちもく）
- (27) 果報は寝て待て
- (28) 枯れ木も山のにぎわい
- (29) けがの功名（こうみょう）
- (30) 知らぬが仏

- (24) あることをきっかけに急に理解ができること。
- (25) 心から大切に育てるること。
- (26) 相手に対してがまんができないこと。
- (27) 恥をかかせること。
- (28) 非常におしゃべりなこと。
- (29) 言い終わってすぐ前と違うことを言う。
- (30) はっきりと言わないこと。
- (31) 経済的にやりくりがうまくいかないこと。
- (32) ほっと安心すること。
- (33) 何かを熱心に探す様子。
- (34) 不景気で寂しい様子。
- (35) 数をごまかすこと。
- (36) 有力者の一声で決まる。
- (37) ついに。最終的に。
- (38) 面積がとても狭いこと。
- (39) 本性を隠していること。
- (40) 元気なくしおげること

- (1) 本当の精神を知らないこと。
- (2) 身体だけが大きくて役に立たないこと。
- (3) 余計なことをしてかえって災難に遭うこと。
- (4) 何事も専門家に任せるがいい。蛇の道は蛇。
- (5) 実際につきあってみないとわからないこと。
- (6) 過ぎてしまうと苦しかったことも忘れること。
- (7) 苦労せずに利益を得ること。
- (8) 思うようにいかずもどかしいこと。
- (9) 人に親切にすると結局自分に返ってくること。
- (10) 不確実なことをあれこれ計画すること。
- (11) ちょうどんにつりがね。全く対照的なこと。
- (12) 指図する人が多いと変な方向に向かっていく。
- (13) 名人は道具の善し悪しを問題にしない。
- (14) 時は金なり。歳月人を待たず。
- (15) 疑われることはするな。李下に冠を正さず。
- (16) 経験豊かでできるがしこくなること。
- (17) 規律も統制もない集団。
- (18) 相手を好きになればこっちを好きになる。
- (19) 愛していれば欠点までもが長所に見える。
- (20) 悪事はすぐに知れ渡る。
- (21) 見聞が狭く世間を知らないこと。
- (22) 猿も木から落ちる。弘法も筆の誤り。
- (23) 中途半端で役に立たないこと。
- (24) あぶはちとらす。（反対に、一石二鳥など）
- (25) じっと辛抱すればいつかは成功する。
- (26) 当事者よりも周囲の方がよく判断できること。
- (27) 幸運はあせらずにじっと待つのがよい。
- (28) つまらないものでもないよりはまし。
- (29) 失敗が偶然により結果を生むこと。
- (30) 知らないでいるから平気でいられる

#### Eの部屋: 古典、韻文

#### 古典でてんぱんにやられている諸君、KOTENの歌でも歌わないか

- (1) 月の異名
- (2) 奈良時代、日本語の発音通りに表記するために意味とは関係なく当てはめた文字を。
- (3) 平安時代に生まれた、漢字を崩して作られた文字は。また漢字の一部を略して作られた文字は。
- (9) 次の冒頭部分の作品は？  
「ざ・お口のたいそう」プリント参照 その例として  
①月日は百代の過客にして行きかふ年もまた旅人なり・・・  
②春はあけぼの やうやう白くなりゆく山際少しあかりて...  
③ゆく河の流れは絶へずして しかももとの水にあらず...

- (1) 瞳月、如月、弥生、卯月、皐月、水無月、文月、葉月、長月、神無月、霜月、師走
- (2) 万葉仮名
- (3) 平仮名、片仮名
- (9) 何やとびだしたる？  
①おくの細道（芭蕉・江戸）旅の紀行文  
②枕草子（清少納言・平安）  
③方丈記（鴨長明・鎌倉）

- ④つれづれなるままに日暮らし硯にむかひて 心に…  
 ⑤いづれの御時にか 女御更衣あまたさぶらひたまひける…  
 ⑥祇園精舎の鐘の声 諸行無常の響きあり…  
 ⑦いまは昔 竹取の翁といふものありけり…  
 ⑧少年老い易く学成り難し 一寸の光陰軽んずべからず…  
 ⑨吾れ十有五にして学に志す 三十にして…  
 ⑩まだあげ初めし 前髪の 林檎の下に 見えし時…

- (10) 日本最古の歌集は? 仮名文学は? 神話は? 歴史書は?  
 (11) 古典の三大和歌集といえば  
     (万) 大伴家持、柿本人麻呂、天智天皇、山上憶良  
     (古) 紀貫之、小野小町、  
     (新) 藤原定家、西行法師、  
 (13) 江戸時代の三大俳人といえば。  
     (代表作) 閑かさや 岩にしみ入る 蝉の声  
         春の海 ひねもすのたり のたりかな  
         我とて あそべや親の ない雀  
 (14) 近代・現代作家の作品として。  
     ①石川啄木 ②太宰治 ③宮沢賢治 ④川端康成  
     ⑤森鷗外 ⑥夏目漱石 ⑦島崎藤村 ⑧芥川龍之介  
 (15) 比喩の中でも、人にたとえたら何。また直接的にたとえる方法(ようだ・ごとしを使う)は何。  
 (16) 一対になる語句を並べて対照的に示す方法を。  
 (17) 擬音語(擬声語)と擬態語の例を。  
 (18) 文章では段落、詩なら。  
 (19) 詩を用語で分けると。また、字数や形で分けると。  
 (20) 俳句で感動を表す「や、かな、けり、ぞ、よ、」などを。  
 (21) 俳句で句切れには、4種類あるが何。  
 (22) 俳句の季語をまとめたものを。

- (29) 百人一首～尾西真蛇子さんが選んだベスト10から20の範囲で上の句を詠みます。  
 (1) 秋の田の かりほの庵の 苦をあらみ  
 (2) 春過ぎて 夏来にけらし 白妙の  
 (3) 田子の浦に うち出でて見れば 白妙の  
 (4) 奥山に 紅葉踏み分け 鳴く鹿の  
 (5) 足引の 山鳥の尾の しだり尾の  
 (6) 天の原 ふりさけ見れば 春日なる  
 (7) これやこの 行くも帰るも 別れては  
 (8) 花の色は うつりにけりな いたづらに  
 (9) 君がため 春の野に出てて 若菜摘む  
 (10) 立ち別れ いなばの山の 峰に生ふる  
 (11) 月見れば 千々に物こそ 悲しけれ  
 (12) 名にし負はば 逢坂山の さねかづら  
 (13) ひさかたの 光のどけき 春の日に  
 (14) 人はいさ 心も知らず ふるさとは  
 (15) 忍ぶれど 色に出でにけり わが恋は  
 (16) 大江山 いく野の道の 遠ければ  
 (17) 夜をこめて 鳥の空音は はかるとも  
 (18) 今はただ 思ひ絶えなむ とばかりを  
 (19) 瀬を早み 岩にせかるる 滝川の  
 (20) 玉の緒よ 絶えなば絶えね ながらへば  
 (21) めぐり逢ひて 見しやそれとも わかぬ間に

- (30) 昔時刻や方位に使った「十二支」を順に答えなさい。

- ④つれづれぐさ・徒然草(吉田兼好・鎌倉)  
 ⑤源氏物語(紫式部・平安)  
 ⑥平家物語(不明、琵琶法師によって語り継がれる・鎌倉)  
 ⑦竹取物語(不明・日本最古のかな文学…平安)  
 ⑧(起承転結…未だ覚めず池塘春草の夢 階前の梧葉已に秋声)  
 ⑨論語(志學・而立・不惑・知命・耳順・従心 )  
 ⑩初恋(島崎藤村・定型詩・七五調)

- (10) 順に、万葉集。竹取物語。古事記、日本書紀  
 (11)  
 ①万葉集(ますらをぶり、素朴、すべての階層)  
 ②古今和歌集(最初の勅撰、たをやめぶり、あはれ)  
 ③新古今和歌集(8番勅撰、幽玄、絵画・象徴的)  
 (13) 順に 松尾芭蕉、与謝蕪村、小林一茶  
     旅に病んで 夢は枯野を かけ廻る (芭蕉)  
     菜の花や 月は東に 日は西に (蕪村)  
     めでたさも ちゆ位なり おらが春 (一茶)  
 (14) ①一握の砂 ②人間失格 ③銀河鉄道の夜 ④伊豆の踊子・雪国 ⑤山椒大夫 ⑥坊ちゃん ⑦破壊 ⑧杜子春  
     (ノーベル文学賞は川端康成・大江健三郎)  
 (15) 擬人法、直喩(逆を隠喩)  
 (16) 対句(ついく) 沖には平家、陸には源氏…  
 (17) 前者はワンワン、後者はとぼとぼ、ふらふら  
 (18) 連  
 (19) 口語と文語 自由詩、定型詩、散文詩  
 (20) 切れ字  
 (21) 初句切れ、二句切れ、句切れなし、中間切れ  
 (22) 歳時記(さいじき)

(29) 下の句をどうぞ。

- (下の句) わが衣手は 露にぬれつつ (天智天皇)  
 (下の句) 衣干すてふ 天の香具山 (持統天皇)  
 (下の句) 富士の高嶺に 雪は降りつつ (山部赤人)  
 (下の句) 声聞くときぞ 秋は悲しき (猿丸大夫)  
 (下の句) 長々し夜を ひとりかも寝む (柿本人麻呂)  
 (下の句) 三笠の山に 出でし月かも (阿倍仲麻呂)  
 (下の句) 知るも知らぬも 逢坂の関 (蟬丸)  
 (下の句) 我が身世のふる ながめせし間に (小野小町)  
 (下の句) わが衣手に 雪は降りつつ (光孝天皇)  
 (下の句) まつとし聞かば 今帰り来む (在原業平)  
 (下の句) わが身ひとつの 秋にはあらねど (大江千里)  
 (下の句) 人に知られて くるよしもがな (藤原定方)  
 (下の句) しづ心なく 花の散るらむ (紀友則)  
 (下の句) 花ぞ昔の 香にほひける (紀貫之)  
 (下の句) 物や思ふと 人の問ふまで (平兼盛)  
 (下の句) まだふみもみず 天の橋立 (小式部内侍)  
 (下の句) よに逢坂の 関は許さじ (清少納言)  
 (下の句) 人づてならで 言ふ由もがな (藤原道雅)  
 (下の句) われても末に 逢わむとぞ思ふ (崇徳院)  
 (下の句) 忍ぶることの 弱りもぞする (式子内親王)  
 (下の句) 雲隠れにし 夜半の月かな (紫式部)

- (30) 子丑寅卯辰巳午未申酉戌亥(ね・うし・とら・う・たつ・み・うま・ひつじ・さる・とり・いぬ・い)

## Fの部屋: 文法

## 文法の勉強始めよう、尻込み禁物ぶつかって…

- (1) 文を大きい順に5段階で分けなさい。

- (1) 文章一段落一文一文節一単語

**あとは中学生になってからのお楽しみ!?**